

講義名	日本語D (話す)			授業形態	
担当教員	石橋 明子	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

よりよい人間関係を築くために必要な会話力を身につける。
大学生に必要なプレゼンテーションやディスカッションも行う。

到達目標

コミュニケーションに必要な「聞く力」と「話す力」を身につける。
プレゼンテーションやディスカッションなどの大学生に必要な技能を身につける。

提出課題

授業中に指示

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業時に個別に指示

評価の基準

授業内発表点60%
中間試験15%
期末試験15%
評価表点10%

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とる。
全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受けることができない。
遅刻3回で1回欠席とする。
15分以上の遅刻は、欠席とみなします。
真面目かつ積極的な授業参加を望む。

教科書

.使用しない。

参考図書

.日本語上級話者への道 きちんと伝える技術と表現。	萩原雅佳子, 増田真佐子, 齊藤真理子, 伊藤とく子	スリーエーネットワーク	2420	9784883193554
.リアルな会話で学ぶ にほんご初中級リスニング Alive.	鎌田修, 山森理恵, 金鹿久美子, 奥野由紀子	ジャパンタイムズ	2860	97847890182

その他

授業計画

1. 授業ガイダンス/受講上の注意点 / 自己紹介で好印象をあたえよう
2. きっかけを語る
3. みんなでたこ焼き
4. 省の棒子話そう
5. たぶった!
6. 中間試験
7. 健康はスムージー
8. 言い換えて説明しよう
9. 比べて良さを伝えよう
10. ストーリーを話そう
11. なんかいいことあった?
12. 将来の夢を語る
13. これがあるすめ
14. レジネタ会話
15. 期末試験 (プレゼンテーション)

授業形態 (アクティブ・ラーニング)

ア: PBL (課題解決型学習)	イ: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習 120分
・教科書に出てくる新しい語彙や表現等の意味を調べておく。
復習 120分
・授業時に学習した表現や語彙を使った会話を考える。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目を受講することで、仲間と協同して、物事を成し遂げることができるようになり、人と円滑なコミュニケーションをとることができるようになります。日本文化を学ぶことで創造力 (新しい視点と豊かな発想) を持った人材となり、必要な日本語能力を身につけ、活用することができるようになります。知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材の育成につながります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考